MASPRO

BL型 CSアンテナ

CS ANTENNAS

CSディジタル放送受信用　オフセットパラボラ

受信周波数	12.20～12.75GHz	
出力周波数	垂直偏波	1000～1533MHz
	水平偏波	1590～2072MHz

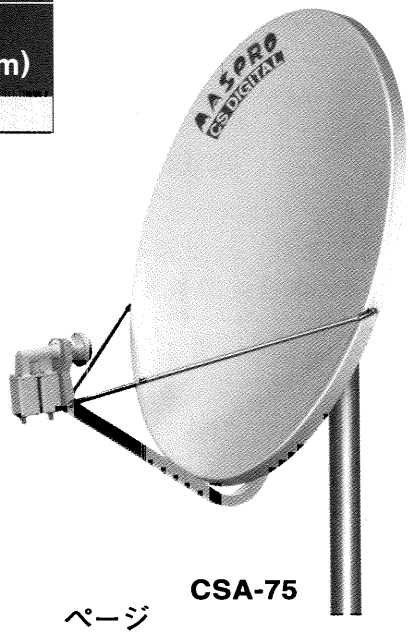
CSA-75 (75cm)

CSA-100 (100cm)

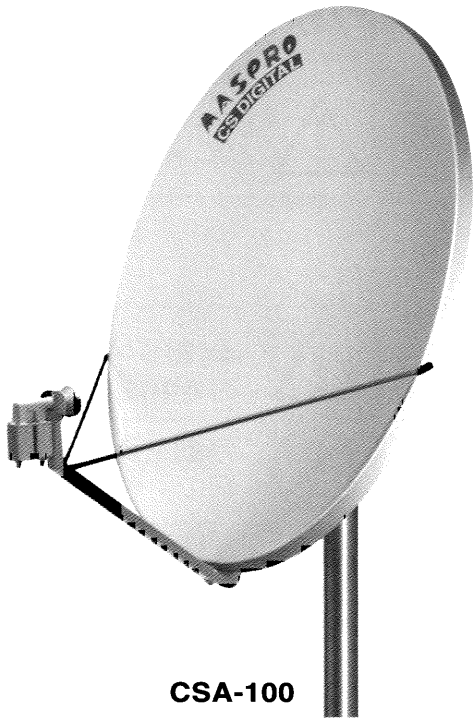
低電圧(DC 15V)方式

優良住宅部品
テレビ共同受信機器

取扱説明書
施工説明書



CSA-75



CSA-100

MASter of PROduction
生産の覇者

目次

ページ

安全上のご注意 …… 2

取扱説明

特長 …… 3

各部の名称（**CSA-75**） …… 3

〃　（**CSA-100**） …… 4

規格表・付属品 …… 4

施工説明

アンテナの組立・取付（**CSA-75**） …… 5

〃　（**CSA-100**） …… 6

アンテナの方向調整 …… 7

防水Ｆ型コネクターの取付方法 …… 9

コネクターの接続と防水処理 …… 9

アンテナの仰角・コンバーター傾き角 … 10

保証について

無償修理規定 …… 10

ＢＬ部品とは

（財）ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって，品質，性能，アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので，安心してご利用できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書・施工説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
=マスプロ電工=

安全上のご注意

ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この『安全上のご注意』には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⃠ 記号は，禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容(左図の場合,分解禁止)が描かれています。
	この記号は，行為を強制したり指示する内容を示しています。

⚠ 警告

●雷が鳴り出したら，CSアンテナや引込みケーブル，CSチューナーには触れないでください。感電の原因となります。

●ディッシュには，光沢がでる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線が水平・垂直偏波分波器に集まり，やけど・故障の原因となります。

⚠ 注意

●CSアンテナは，強風の影響を受けやすいため，各ボルト・ビス・ナットを指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。取付けが不完全な場合，落下して，けがの原因となることがあります。

●CSアンテナを改造・分解しないでください。けがの原因となることがあります。

●強風のときや，雨・雪・雷など天候が悪い日は，危険ですから，取付作業をおこなわないでください。

取扱説明

特長

金属メッシュ埋込みFRP製ディッシュ

マスプロ独自の技術によって，FRP(ガラス繊維強化プラスチック)に金属メッシュを埋込んだ電波反射効率の優れたディッシュです。また，耐候性のよい特殊低温焼付塗装がしてありますから，耐久性も抜群です。

水平・垂直偏波混合対応

CSコンバーターの局部発振周波数が水平偏波は10.678GHz，垂直偏波は11.2GHzになっていますから，水平・垂直偏波の信号を混合して1本のケーブルで伝送できます。

金具は耐久性抜群

海岸地帯にぜひ

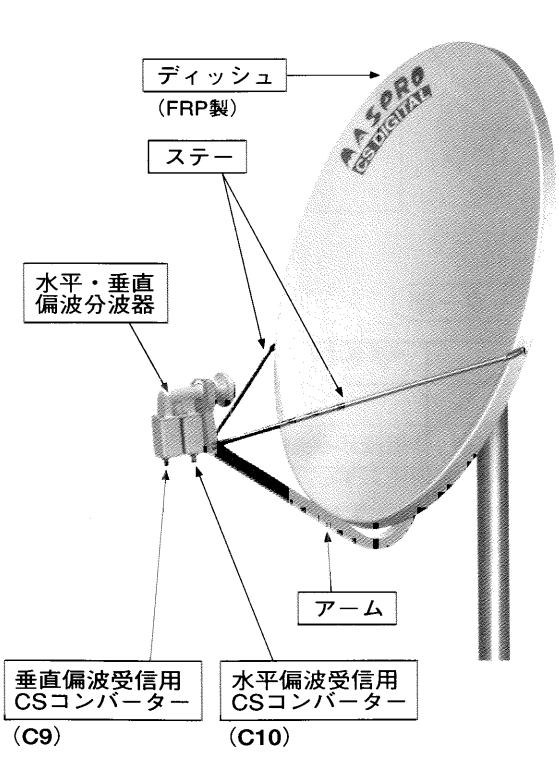
最高防錆，溶融亜鉛メッキ
塗装できないので，見た目，悪いが10年先まで錆びないメッキは，溶融亜鉛メッキ！

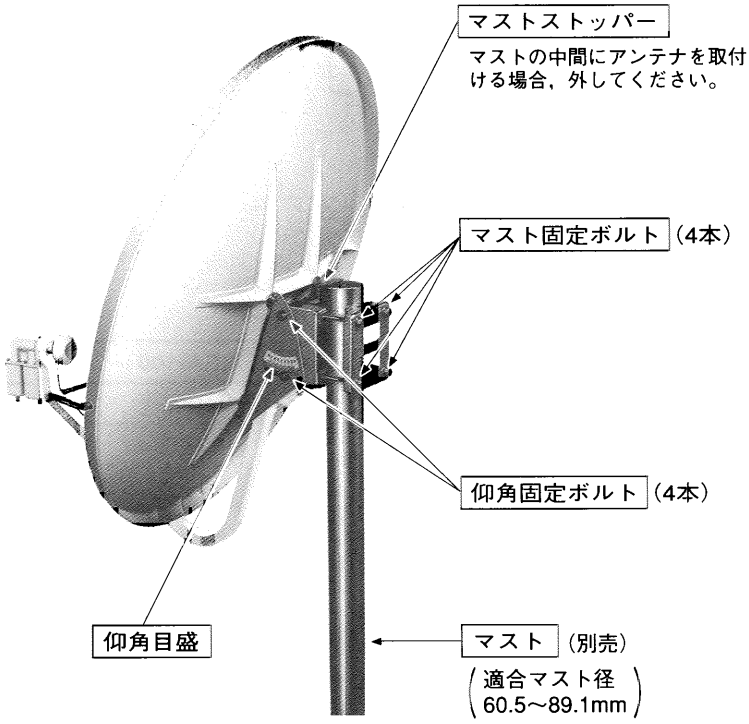
風速60m/sでもOK

最大風速毎秒60mに充分耐える構造です。

各部の名称

CSA-75

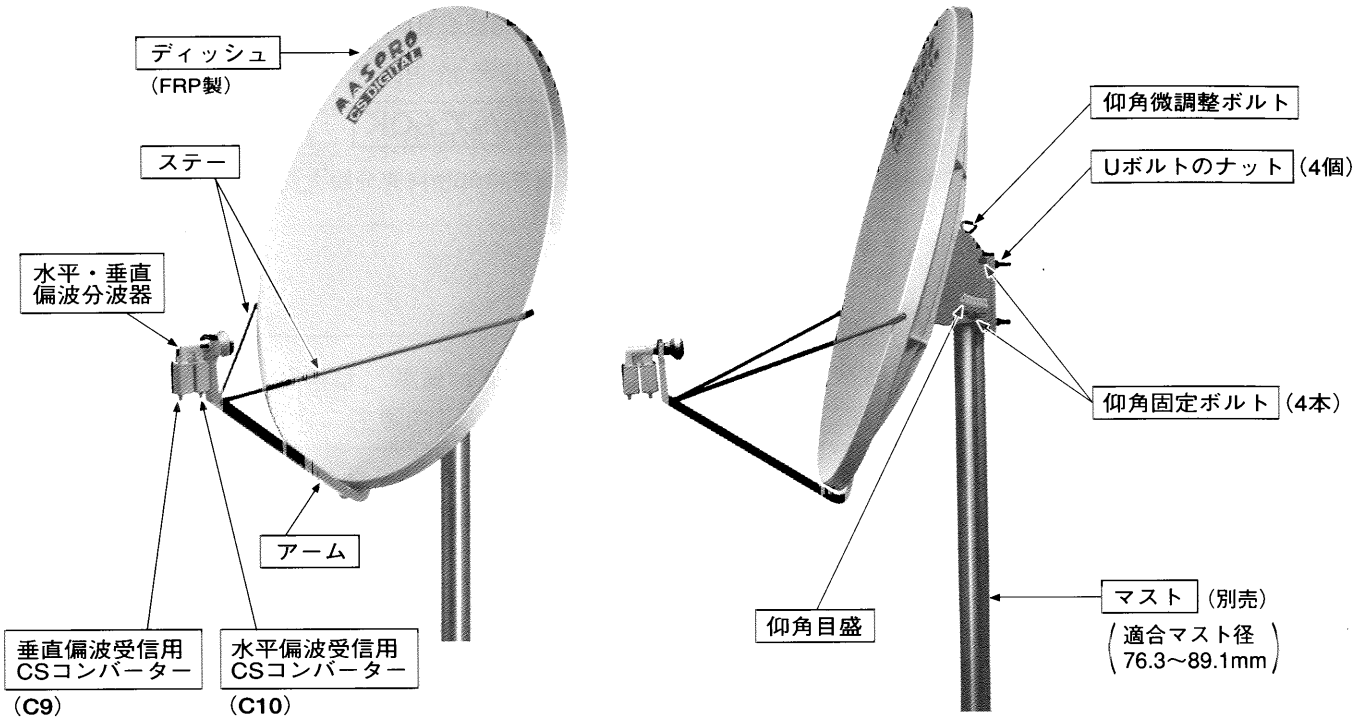




取扱説明

各部の名称

CSA-100



規格表

アンテナ部

項目	CSA-75	CSA-100
周波数	12.20~12.75GHz	
アンテナ利得	37.8dB以上	40.3dB以上
電圧定在波比	1.3以下	
指向性 (主偏波特性 / 交差偏波特性)	EIAJ CPR-5104Aの A'カーブ(B'カーブ)に適合する	
総合性能(G/T)	15.5dB/K以上	18.0dB/K以上
耐風速	60m/s	
受風面積	0.54m²	0.95m²
短軸径×長軸径	775×886mm	1028×1176mm
質量(重量)	約7.5kg(コンバーターを含む)	約13.5kg(コンバーターを含む)
適合マスト径	60.5~89.1mm	76.3~89.1mm

CSコンバーター部

項目	垂直偏波受信用(V) C9	水平偏波受信用(H) C10
入力周波数	12.20~12.75GHz	
出力周波数	1000~1533MHz	1590~2072MHz
総合利得	54±4dB	
雑音指数	1.2dB以下	
出力電圧定在波比	2.5以下	
出力インピーダンス	75Ω(F型コネクター)	
イメージ妨害抑圧比	31dB以上	
局部発振周波数の漂動	11.2GHz±1.5MHz以内	10.678GHz±1.5MHz以内
利得偏差	受信帯域内で6dBp-p以下	
相互変調妨害比	⊖75dBmW入力の2信号において58dB以上	
入力端子における局部発振信号の漏洩	⊖55dBmW以下	
局発位相雑音	⊖47dBc/Hz(1kHz)以下 ⊖65dBc/Hz(5kHz)以下 ⊖75dBc/Hz(10kHz)以下	
使用温度範囲	⊖30~⊕50℃	
電源	DC15V 6W以下	
外観寸法	40(H)×40(W)×76(D)mm	
質量(重量)	約140g	

付属品

防水F型コネクター
(5Cケーブル用C15W5F) …… 2個
自己融着テープ(25cm巻) …… 2個
結束バンド(ケーブル固定用) …… 2本

施工説明

●関連法規

テレビ共同受信システム工事には，下記の法律が適用されます。

●有線電気通信法　●有線テレビジョン放送法

アンテナの組立・取付　CSA-75

1. アーム・ステー

ディッシュにアームとステー(2本)を取付けてください。
(写真1参照)

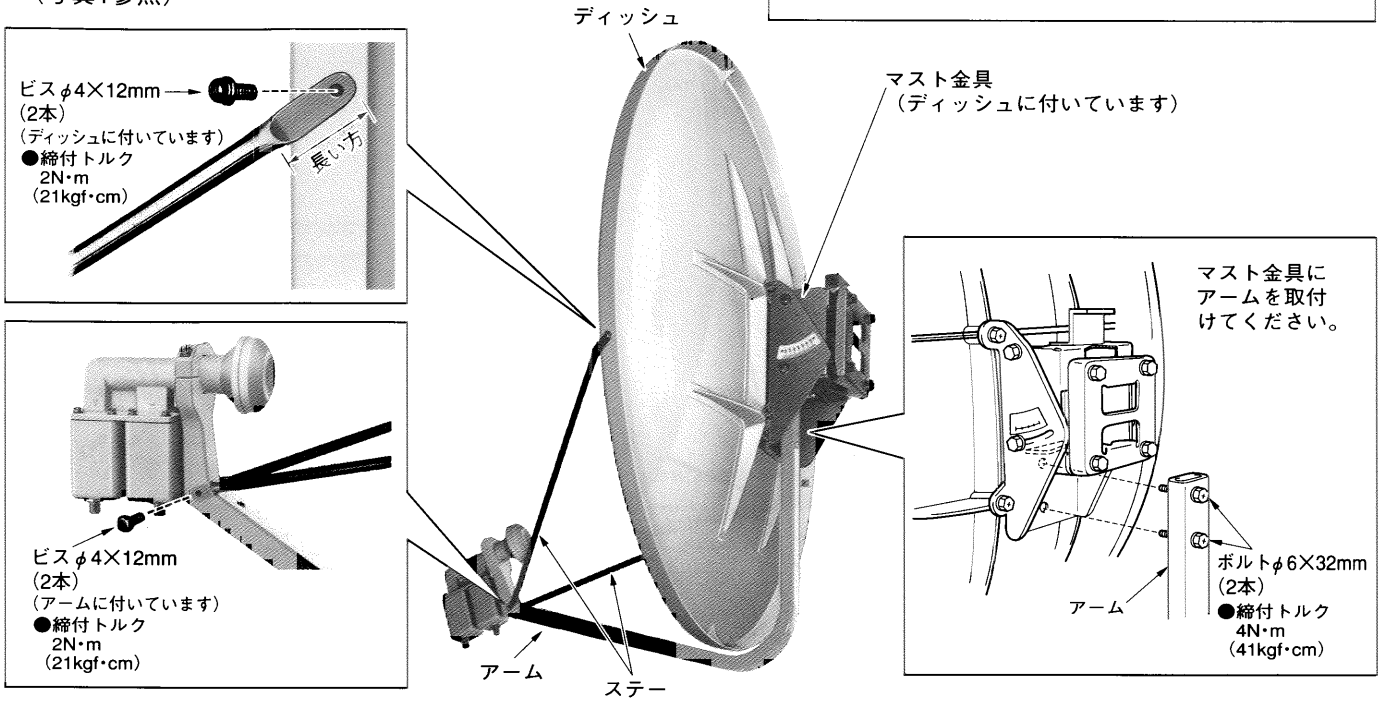


写真1

⚠注意

CSアンテナは強風の影響を受けやすいため，指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。取付けが不完全な場合，落下して，けがの原因となることがあります。

2. マストへの取付

① 組立てたパラボラアンテナをマストに取付けてください。
(写真2参照)

② アンテナの仰角・方位角の調整が，手でスムーズに動かせる程度の固さに，マスト固定ボルトおよび仰角固定ボルトを締付けてください。

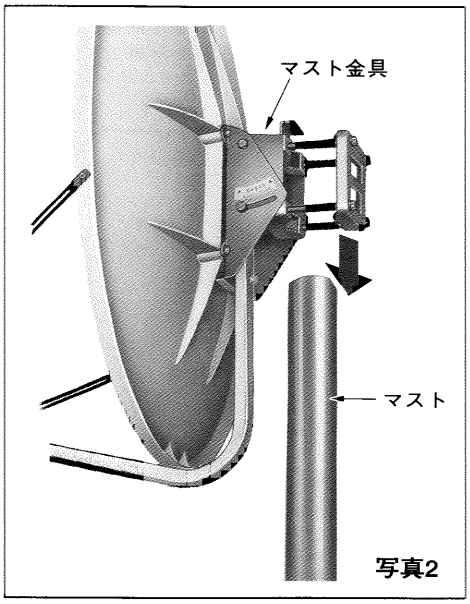


写真2

マストストッパー
マストの中間にアンテナを取付ける場合，外してください。

マスト固定ボルト (4本)

仰角固定ボルト (4本)

マスト (別売)
(適合マスト径 60.5～89.1mm)

仰角目盛

ご注意

マストは必ず鉛直に建ててください。マストが傾いていると仰角目盛が合いません。

施工説明

アンテナの組立・取付　CSA-100

1. アーム・ステー

ディッシュにアームとステー(2本)を取付けてください。
(写真3参照)

⚠ 注意

CSアンテナは強風の影響を受けやすいため，指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。取付けが不完全な場合，落下して，けがの原因となることがあります。

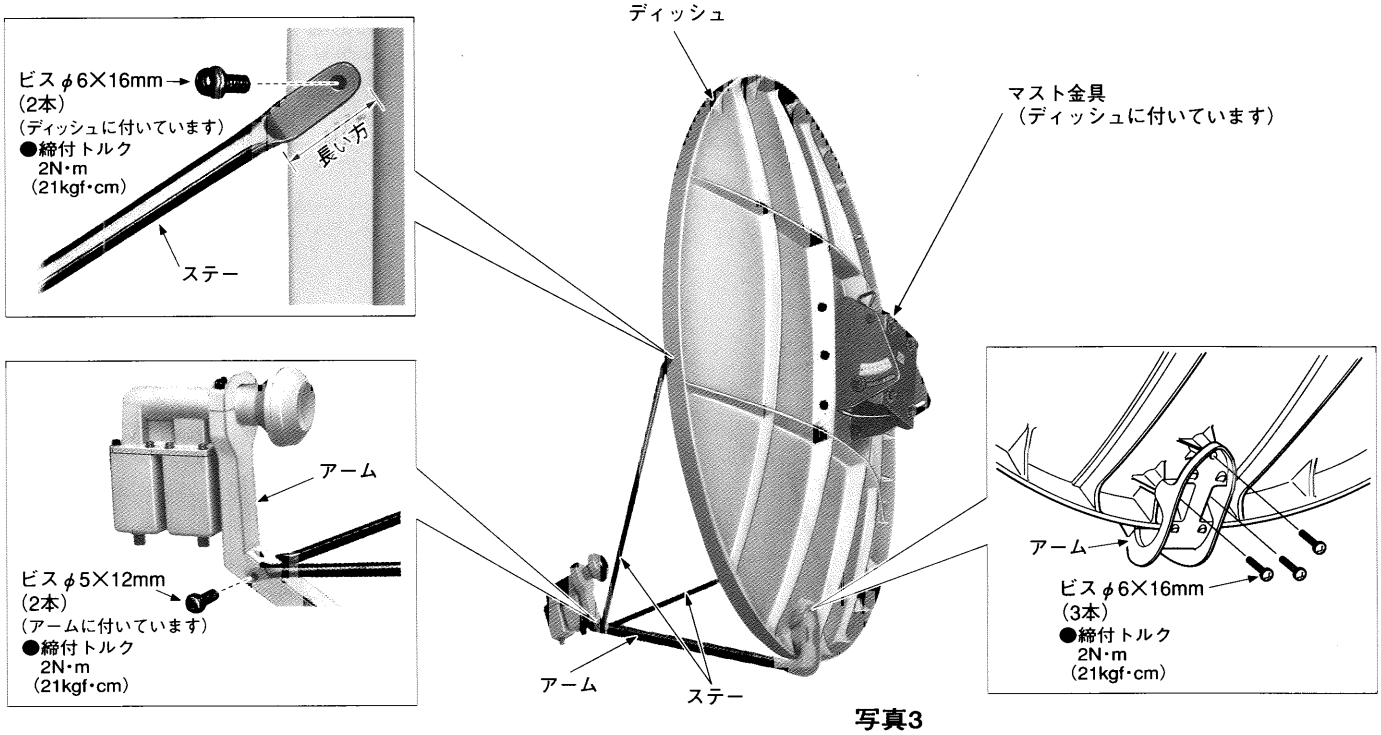


写真3

2. マストへの取付

① 組立てたパラボラアンテナをマストに取付けてください。(写真4参照)

② アンテナの仰角・方位角の調整が,手でスムーズに動かせる程度の固さに,Uボルトのナットおよび仰角固定ボルトを締付けてください。

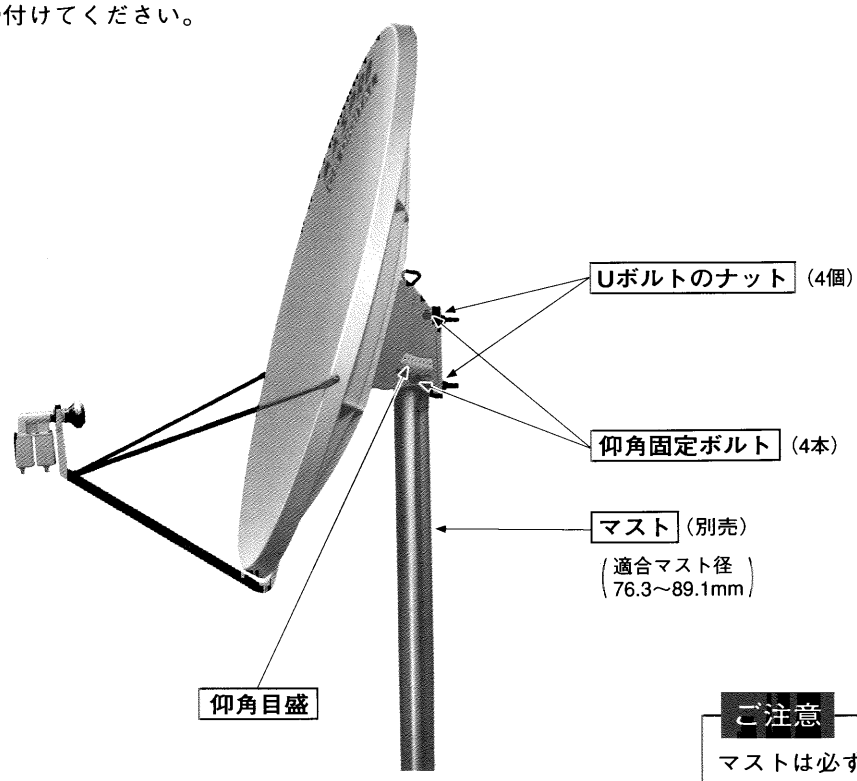


写真4

ご注意

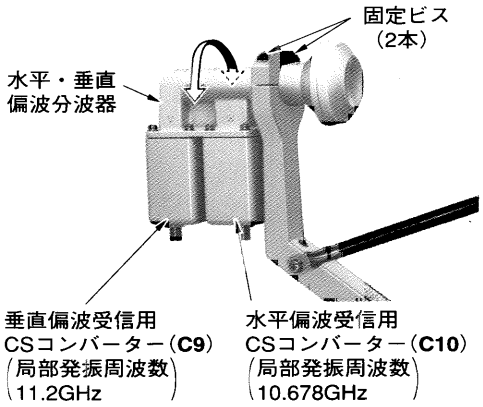
マストは必ず鉛直に建ててください。マストが傾いていると仰角目盛が合いません。

アンテナの方向調整

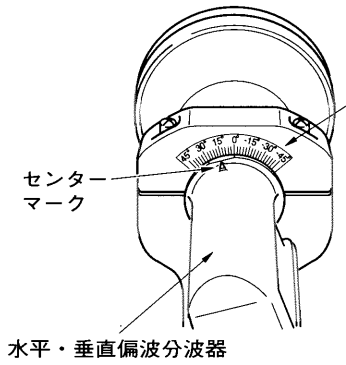
1. コンバーター傾き角の調整

アームの先端に，水平・垂直偏波分波器とCSコンバーターが取付けてあります。

① 水平・垂直偏波分波器が手で矢印の方向に動かせる程度に，固定ビスをゆるめてください。



② p.10の「アンテナの仰角・コンバーター傾き角」の図より，受信地域に該当するコンバーター傾き角を読取ります。水平・垂直偏波分波器のセンターマークをコンバーター傾き角目盛に合わせます。



ご注意

⊕⊖を間違えないようにしてください。

2. 方向調整の準備

① 受信する衛星のチャンネルと偏波を下の表で確認して，対応する偏波のCSコンバーターに，ディジタル・CS・BSレベルチェッカー(マスプロ製)を接続してください。

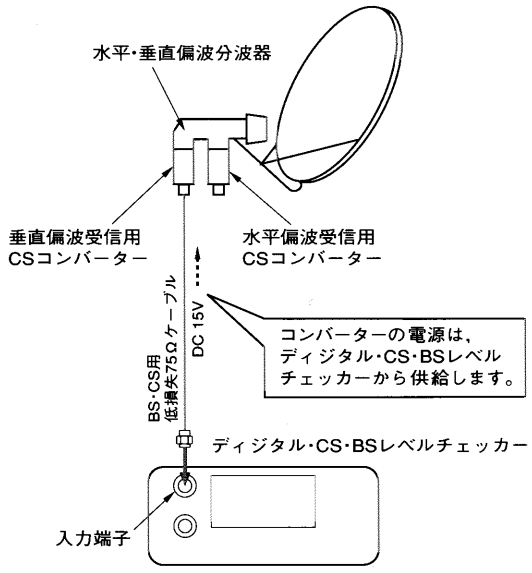
衛星のチャンネルと偏波

衛星名 / 偏波	JCSAT-3 JCSAT-4A
垂直偏波 (V)	奇数チャンネル (JD1, 3, 5……27)
水平偏波 (H)	偶数チャンネル (JD2, 4, 6……28)

② ディジタル・CS・BSレベルチェッカーのDC電源供給スイッチ(アンテナ電源スイッチ)をONにしてください。

③ ディジタル・CS・BSレベルチェッカーのコンバーター給電モードを固定電圧方式(DC15V)に設定してください。

(詳しくは，ディジタル・CS・BSレベルチェッカーの取扱説明書をご覧ください。)

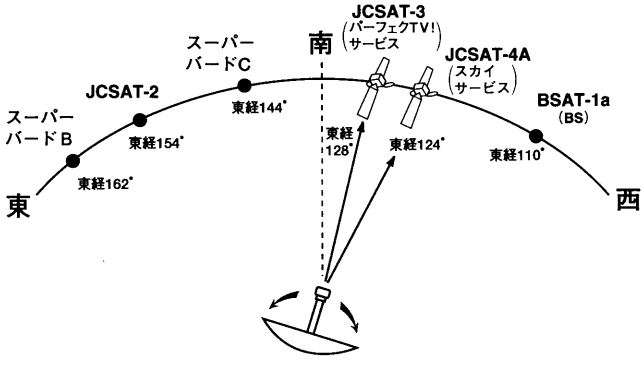


3. 仰角・方位角の調整

① アンテナが左右に回転できる程度の固さに，マスト固定ボルト(**CSA-75**)または，Uボルトのナット(**CSA-100**)が締付けられていることを確かめてください。

② p.10の「アンテナの仰角・コンバーター傾き角」の図より，受信地域に該当する仰角を読取ります。仰角固定ボルトの中心線を，読取った角度に合わせ，仰角固定ボルトを仮締めしてください。(写真5, 6参照)

③ ディジタル・CS・BSレベルチェッカーを見ながら，アンテナを左右に動かし方位角を調整して，ディジタル・CS・BSレベルチェッカーのレベル表示が最大になる位置でマスト固定ボルト(**CSA-75**)，またはUボルトのナット(**CSA-100**)を締付けてください。



図は中部地方の例です。
(北海道地方ではスーパーバードC，沖縄地方ではJCSAT-3がほぼ真南になります。)

CSA-75

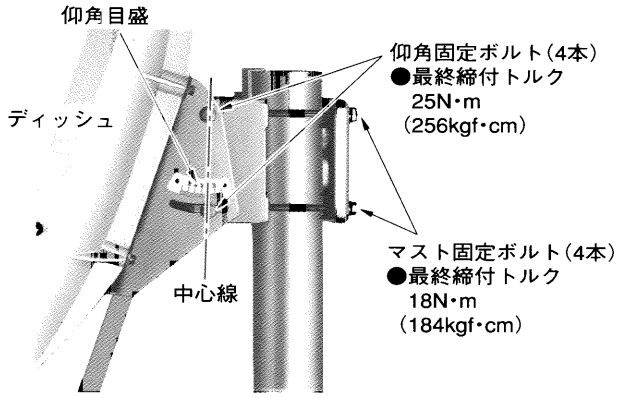


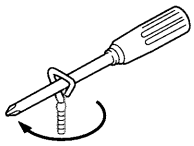
写真5

④ 仰角固定ボルトをゆるめて，アンテナの仰角をディジタル・CS・BSレベルチェッカーのレベル表示が最大となる位置に合わせ，仰角固定ボルトを締付けてください。

⑤ 再度，方位角・仰角の微調整を繰返して，ディジタル・CS・BS レベルチェッカーのレベル表示が最大となるようにしてください。(**CSA-100**は，仰角微調整ボルトで仰角の最終調整をしてください)

⑥ 各固定ボルト・ナットを指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。

仰角微調整ボルトが固いときは，ディッシュの動きを手で補助しながら，図のようにドライバーをボルトの先端の孔に通して回してください。



CSA-100

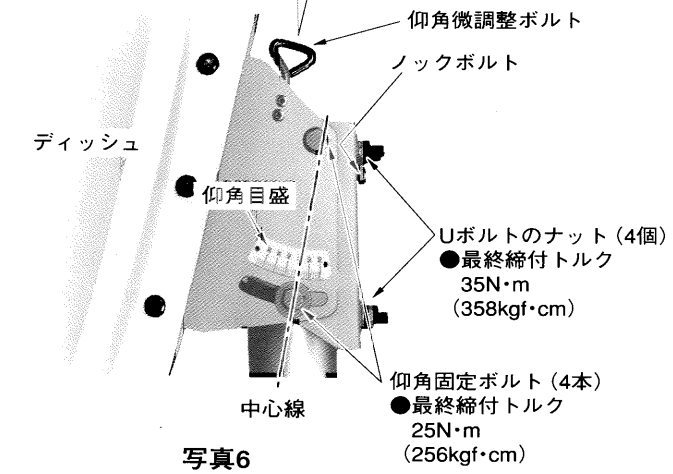


写真6

(**CSA-100**は，各固定ボルト・ナットを締付けたあと，アンテナが回転しないように，ノックボルトの先端がマストに食込むまで締付けてください。強く締付けすぎるとマスト金具(鋼板)が変形しますから注意してください。)

4. コンバーター傾き角の微調整

コンバーター傾き角を正確に合わせるために，ディジタル・CS・BSレベルチェッカー(マスプロ製)を使用して①～③の調整をします。

① CSコンバーターを横向きにしてください。(図1参照)

② ディジタル・CS・BSレベルチェッカーのXPボタンを押して表示を「**00**」にします。
(詳しくは，ディジタル・CS・BSレベルチェッカーの取扱説明書をご覧ください。)

③ CSコンバーターを回転させて，ディジタル・CS・BSレベルチェッカーのレベル表示が最大になる位置で，固定ビスを指定の締付トルクで締付けてください。 (図2参照)

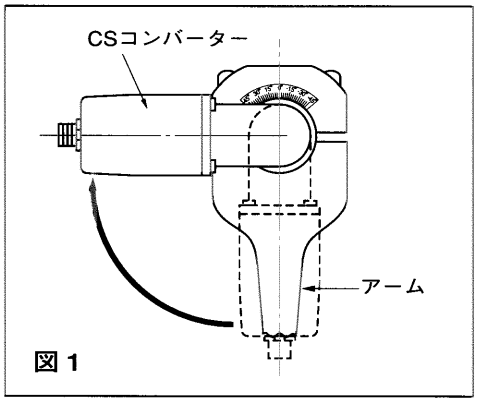


図 1

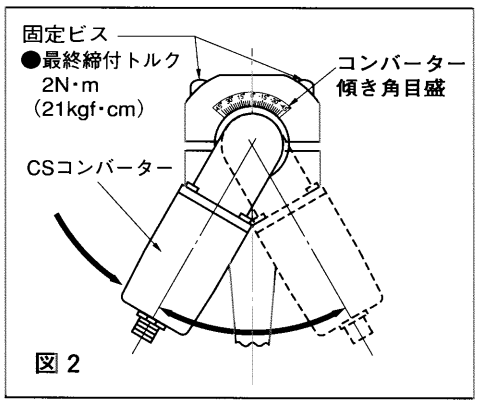


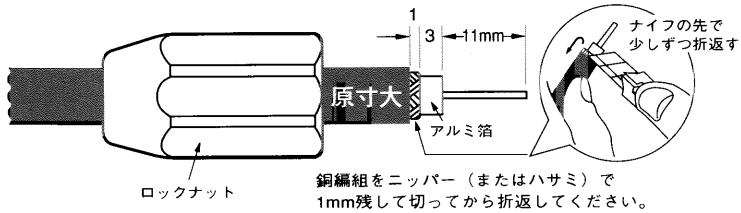
図 2

方向調整終了後，希望する衛星が受信できているか，TVの画面で確認してください。

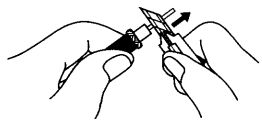
施工説明

防水F型コネクター（C15W5F）の取付方法

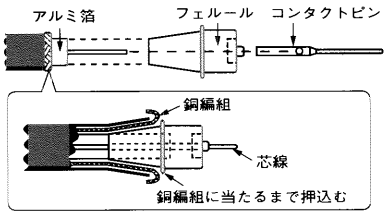
① ケーブルにロックナットを通して，必ず下図の寸法に加工してください。



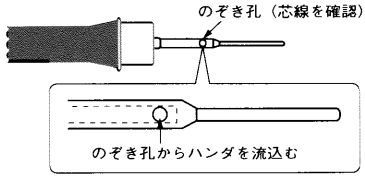
② 芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。



③ フェルールをケーブルの銅編組と，アルミ箔の間に強く押込んでから，コンタクトピンを芯線にはめてください。

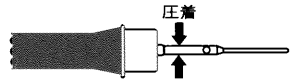


④ のぞき孔から芯線が見えることを確認してから，よく注意してハンダ付けしてください。



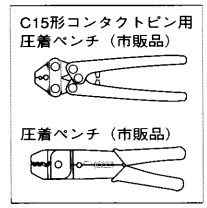
ハンダ付けできない場合

のぞき孔から芯線が見えるのを確認してから，圧着ペンチでコンタクトピンの根元を圧着してください。

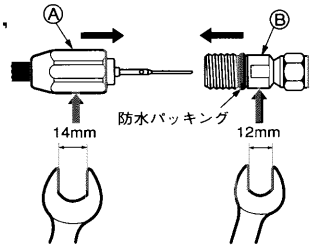


コンタクトピンを前後に動かして，しっかり圧着されていることを確認してください。

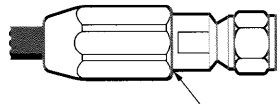
（圧着ペンチ以外の工具では，完全に圧着できません。コンタクトピンが折れることがあります。）



⑤ 2つのスパナを使って，Ⓐ とⒷを，しっかりと締付けてください。



完成図

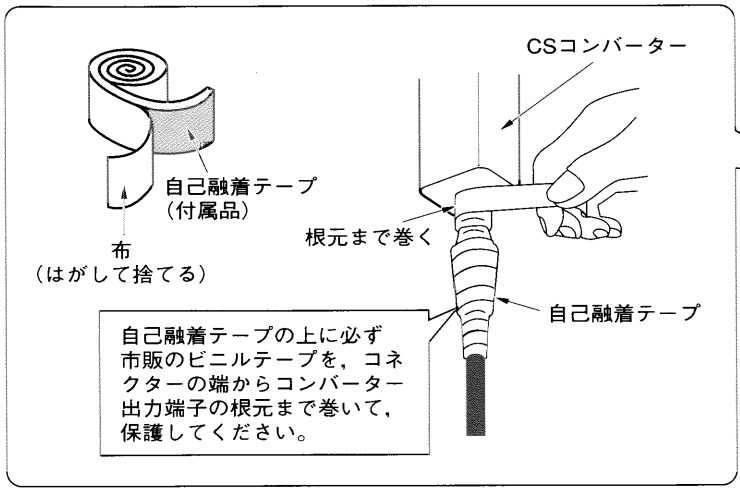


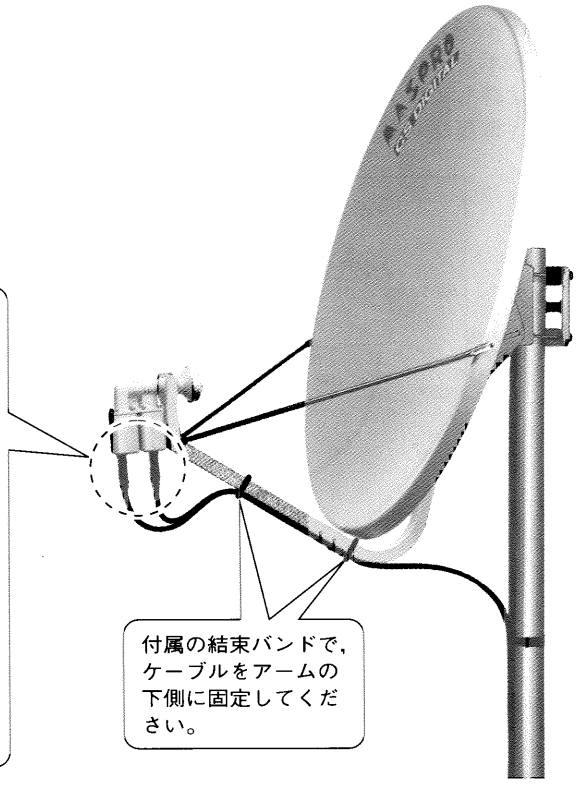
Ⓑの防水パッキングが横から見えなくなるまでネジ込み，さらに半周ネジ込んでください。

コネクターの接続と防水処理

① 防水F型コネクターをCSコンバーターへ，指定の締付トルク2N・m(21kgf・cm)でしっかりと接続してください。

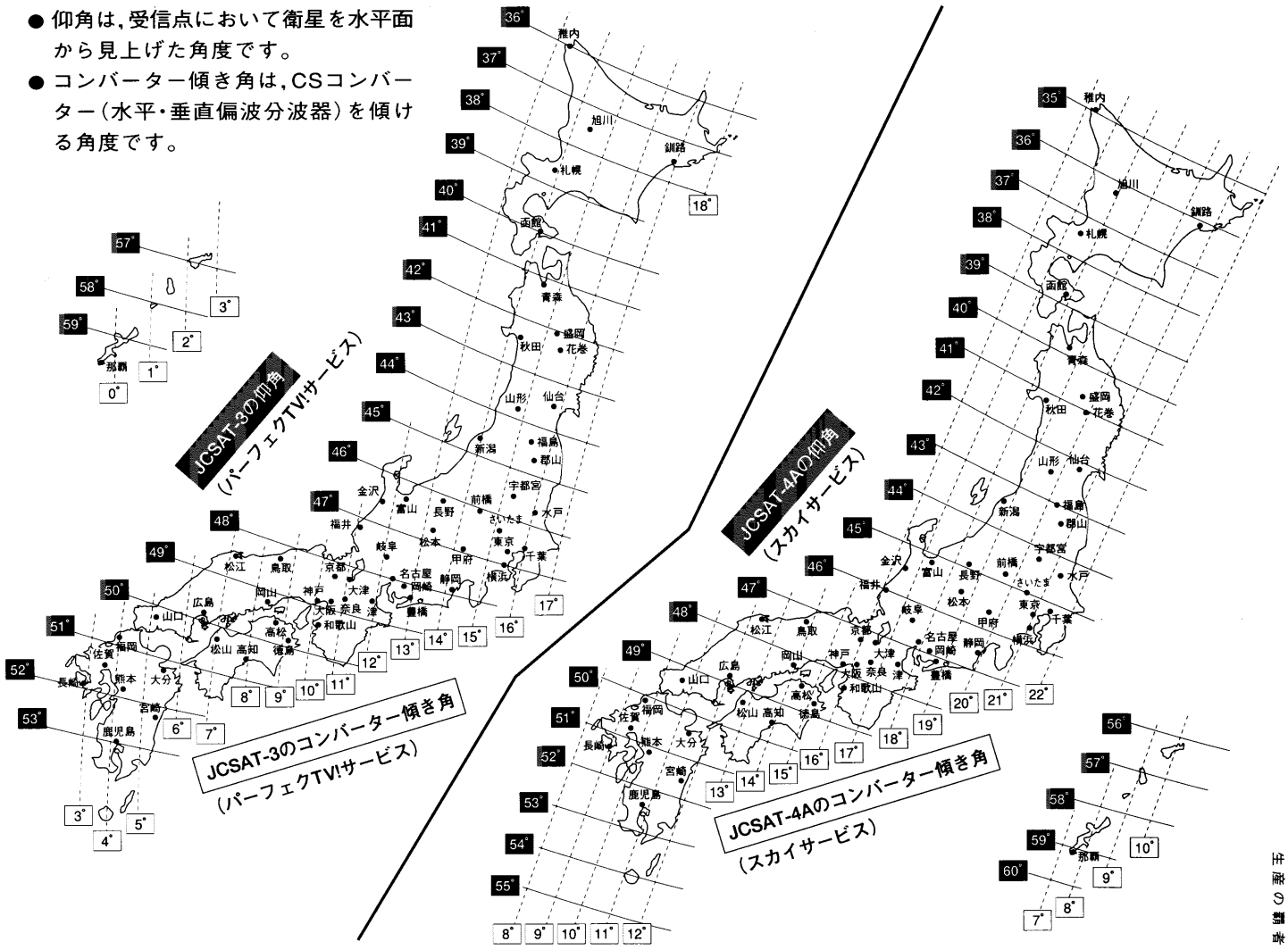
② 防水処理は，付属の自己融着テープの布をはがして，2～3倍の長さに引っ張りながら，コネクターの端からコンバーター出力端子の根元まで全体に巻付けてください。巻き終わったあと，指で押さえて密着させてください。自己融着テープは耐候性が悪いため，その上に必ず市販のビニルテープを，巻いて保護してください。





アンテナの仰角・コンバーター傾き角 （JCSAT-3，JCSAT-4A）

- 仰角は，受信点において衛星を水平面から見上げた角度です。
- コンバーター傾き角は，CSコンバーター（水平・垂直偏波分波器）を傾ける角度です。



保証について

無償修理規定

保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合，当社支店・営業所までお申付けください。
この製品の保証期間は，お引渡しの日から5年間とします。ただしコンバーターは2年間とします。
保証期間内でも下記の場合，有償修理となります。

① 日本国以外で使用した場合の不具合。
② 住宅用途以外で使用した場合の不具合。
③ ユーザーが適切な使用，維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合。
④ メーカーが定める施工説明書に基づかない施工，専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
⑤ 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合，塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象。
⑥ 海岸付近，温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ ねずみ，昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧ 火災・爆発事故，落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または戦争，暴動などの破壊行為による不具合。
⑨ 消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩ 電気の供給トラブルなどに起因する不具合。
⑪ 瑕疵に起因して，住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号） 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802−2244
工事営業部 〃 (052)802−2225
技術相談 〃 (052)805−3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所

沖縄	(098) 854-2768	熊本	(096) 381-7626
鹿児島	(099) 226-9200	長崎	(095) 846-6872
宮崎	(0985) 25-3877	福岡(支)	(092) 531-3861
		北九州	(093) 941-4026
下関	(0832) 55-1130	津	(059) 234-0261
徳山	(0834) 32-2954	岐阜	(058) 275-0805
広島	(082) 230-2351	名古屋(支)	(052) 802-2233
松江	(0852) 21-5341	工事営業部	(052) 804-6262
岡山	(086) 252-5800	豊橋	(0532) 33-1500
松山	(089) 973-5656	静岡	(054) 283-2220
高知	(088) 882-0991	松本	(0263) 57-4625
高松	(087) 865-3666		
姫路	(0792) 34-6669		
神戸	(078) 843-3200	福井	(0776) 23-8153
大阪(支)	(06) 6635-2222	金沢	(076) 249-5301
工事営業部	(06) 6632-1144	新潟	(025) 287-3155
京都	(075) 341-0595		
横浜	(045) 784-1422	郡山	(024) 952-0095
渋谷(支)	(03) 3409-5505	仙台	(022) 786-5060
工事営業部	(03) 3499-5631	盛岡	(019) 641-1681
秋葉原	(03) 3255-7335	秋田	(018) 862-7523
青戸	(03) 3695-1811	青森	(017) 742-4227
八王子	(0426) 37-1699		
千葉	(043) 232-5335	函館	(0138) 53-7355
さいたま	(048) 663-8000	札幌	(011) 782-0711
前橋	(027) 263-3767	釧路	(0154) 23-8466
水戸	(029) 248-3870	旭川	(0166) 25-3111
宇都宮	(028) 660-5008	北見	(0157) 61-0480

MAR., 2002

MASter of PROduction
生産の覇者
2K55-271
B-110-4271-2L